

環境活動レポート

(2015 年 2 月～9 月)

2015 年 10 月 20 日

ヨシムラ環境整備株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社

(2) 代表者：代表取締役 吉村 学

(3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日

(4) 資本金：320 万円

(5) 所在地：

本社・処分場：広島市安佐北区安佐町久地堀切山 625 番地の 10

(6) 事業内容：

産業廃棄物収集運搬及び処分業

(7) 事業の規模

①売上高および工事件数等

項 目		単 位	2014 年度
売上高		百万円	75
産業廃棄物処理量	収集・運搬	トン	1119.042
	中間処理	トン	1063.813

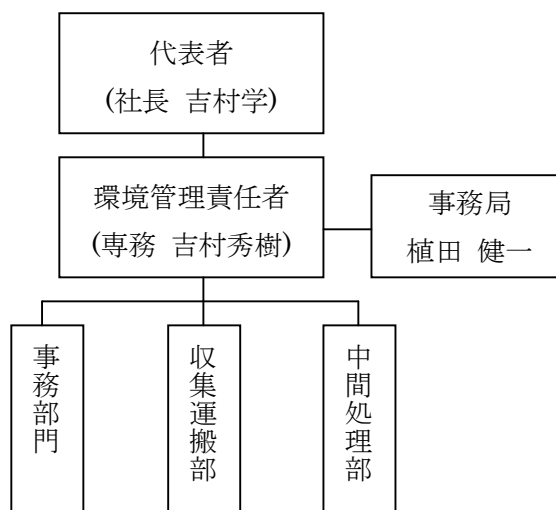
(注) 事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）

②従業員数：7 人

③床面積：本社事務所 29 m²、工場・作業所等 702 m²

(8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹（TEL:082-837-1841）

(9) 組織図



2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とする。

3. 環境方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。

②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。

③節水、グリーン購入に努めます。

2. 法規則等の遵守

事業に関係する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015 年 1 月 20 日

改定日： 2015 年 4 月 1 日

代表取締役社長 吉村 学

4. 環境目標、環境活動計画、環境目標の実績

(1) 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて「環境目標」を以下のとおり定めました。

項 目		2015 年度	2016 年度	2017 年度
電気使用量の削減 [基準：9,258kwh]		△2% 9,072 kwh	△3% 8,980 kwh	△4% 8,887 kwh
化石燃料 使用量の 削減	灯油 [基準：4,705 ℓ]	△2% 4,610 ℓ	△3% 4,563 ℓ	△4% 4,516 ℓ
	ガソリン [基準：5,191 ℓ]	△2% 5,087 ℓ	△3% 5,035 ℓ	△4% 4,983 ℓ
	軽油 [基準：30,665 ℓ]	△2% 30,051 ℓ	△3% 29,745 ℓ	△4% 29,438 ℓ
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減		△2% 111,968kg-CO2	△3% 110,825kg-CO2	△4% 109,683kg-CO2
再資源化率の向上 [基準：64%]		68%	70%	72%
節水 [基準：77 m ³]		△2% 75 m ³	△3% 74 m ³	△4% 74 m ³
グリーン購入の推進		現状把握	1 品目以上	2 品目以上

(注) 1. 「基準値」は、2013 年度の実績値である。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。

3. 化学物質は使用していない。

(2) 2014 年度の環境目標達成状況 (2 月～9 月の 8 か月間))

項 目		単 位	目 標 値	実 績	評価
電気使用量の削減		kwh	6,094	6,043	○
化石燃料使用量の削減	灯油	ℓ	3,105	2,650	○
	ガソリン		3,426	3,560	×
	軽油		20,238	20,431	×
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素	kg-CO2	84,435	81,957	○
再資源化率の向上		%	66	65	×
節水		m ³	50	62	×
グリーン購入の推進			現状把握	現状把握	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、81,957kg-CO₂ となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量 84,435kg-CO₂ に比べて、2.93% 減とした。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の 2013 年度の排出係数 0.719kg-CO₂/kwh を使用した。)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

(1) 電気使用量の削減

空調の適正温度管理や不要照明をこまめに消すなどにより電気使用量の削減に取り組んだ結果、目標を達成することができました。今後も年間目標の達成に向けて、節電の取り組みを徹底するとともに、年度終了後には、1 年間の実績を見て環境目標の変更について検討します。

(2) 化石燃料使用量の削減

- ① 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量は、2013 年度実績で、全体の 92.3%を占めるため、その削減は重要課題と考えています。
- ② 灯油を使用する重機の省エネ運転やアイドリングストップの励行に心がけた結果、目標を達成しました。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。
- ③ 営業車のガソリン使用量については、アイドリングストップの励行や急発進・急加速をしないなどのエコドライブを心がけたものの目標を達成でき

ませんでした。今後も注意喚起等を行い年間目標の達成に向けて取り組みを徹底していきます。

- ④ 収集運搬車両が使用する軽油については、取扱量の増加に伴い目標を達成できませんでした。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底するとともに、年度終了後には、1年間の実績を見て環境目標の変更について検討します。

（３）産業廃棄物再資源化の徹底

弊社の取り扱う主な産業廃棄物は、廃プラスチック類と金属くずで、これらは自社処分場で分別後再資源化しています。そのほかの廃棄物についても、分別の徹底により再資源化に努めています。

分別が一部徹底できず、最終的な再資源化率を押し下げる結果となりました。今後も取り組みを徹底するとともに、取組状況の客観的評価方法を検討します。

（４）節水

業務全般にわたる節水運動を展開したものの、目標を達成できませんでした。今後も年間目標の達成に向けて、取り組みを徹底していきます。

（５）グリーン購入の推進

グリーン購入に取り組むこととし、購入品・エコマークつき商品の調査を実施しました。

現状把握の結果を踏まえて、グリーン購入に努めていきます。

6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

初めての取り組みで手探り状態とはいえ、目標達成のための活動も十分とはいえない状況である。

今後、年間目標達成に向けて取り組みを徹底していくとともに、年度終了後には、1年間の実績を見て環境目標の変更について検討する必要がある。

8. 廃棄物処理業に関する情報

(1) 許可の内容

①一般廃棄物

なし

②産業廃棄物 収集・運搬

発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月	産業廃棄物の種類											
				廃油	廃プラ類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃酸	廃アルカリ
広島市	第07310010149号	平成25年10月12日	平成30年10月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
広島県	第03409010149号	平成25年11月24日	平成30年11月23日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
山口県	第03500010149号	平成26年10月13日	平成31年10月12日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
岡山県	第03301010149号	平成25年10月1日	平成30年9月30日	●	●	●	●	●	●	●		●			
島根県	第3200010149号	平成25年10月12日	平成30年10月12日	●	●	●	●	●	●	●		●			
鳥取県	第03104010149号	平成25年9月1日	平成30年8月31日	●	●	●	●	●	●	●		●			

③産業廃棄物 処分

発行者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月	産業廃棄物の種類										
				廃油	廃プラ類	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃酸
広島市	第07320010149号	平成24年11月26日	平成29年11月25日		●	●	●	●	●	●				

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備 考
8t脱着装置付コンテナ車	2 台	
8tクレーン付ダンプ車	1 台	
4tクレーン付平ボデー車	1 台	
4tダンプ車	1 台	
3t脱着装置付コンテナ車	1 台	
1.5tパワーゲート車	1 台	
合 計	7 台	

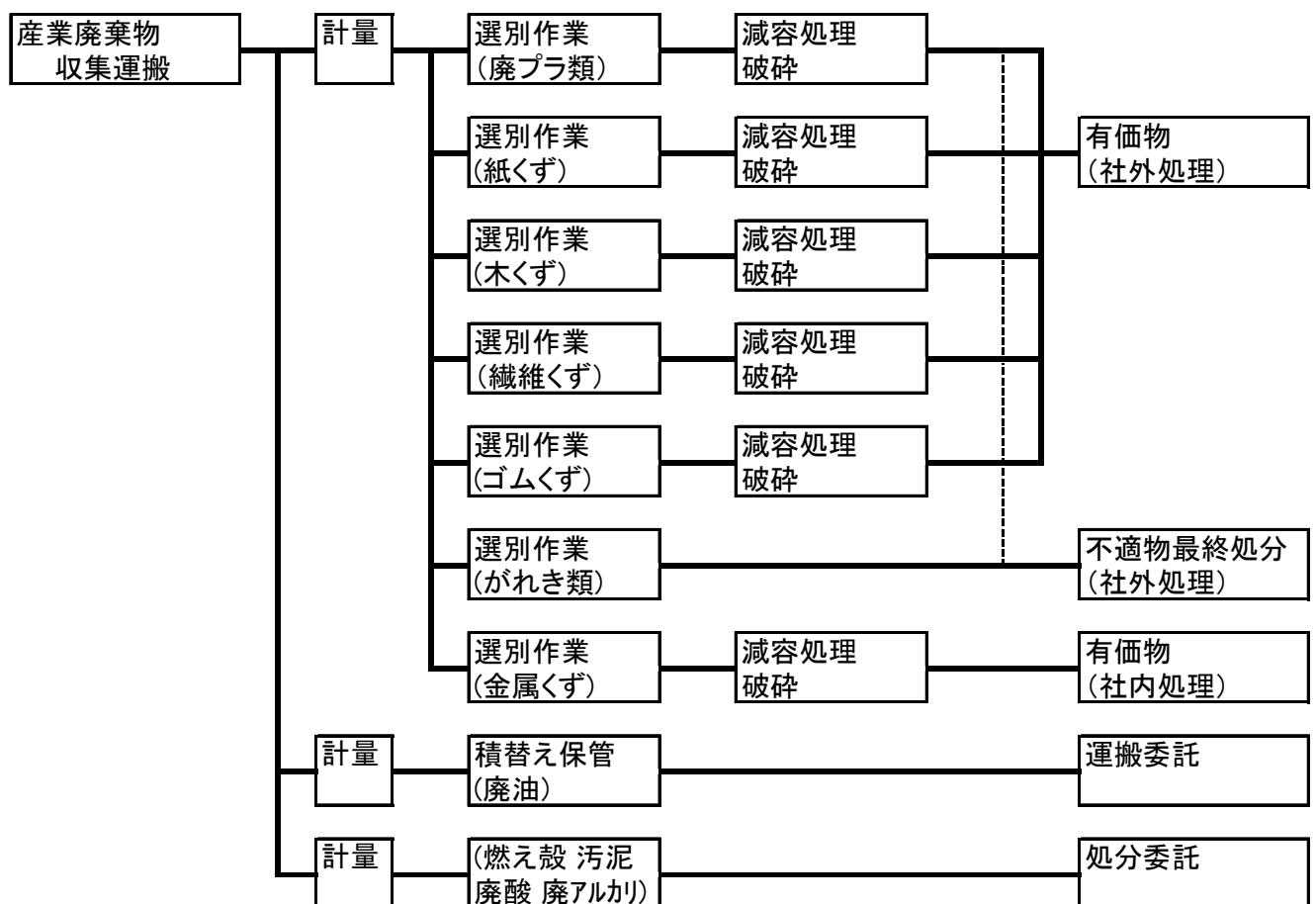
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破砕機	1 基	
40tトラックスケール	1 基	
2tフォークリフト	3 台	
0.25m3 バックホウ	2 台	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
ヨシムラ環境整備(株)	61.15 m ²	1.8 m	

処理工程図



(注)処理能力は、廃プラスチック類 4.72t/日、紙くず 4.08t/日、木くず 4.72t/日、繊維くず 2.72t/日、ゴムくず 4.4t/日、金属くず 4.96t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.4t/日(8H)

(3) 処理実績

受託した産業廃棄物の処理量

2014年度(2014年10月～2015年9月)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		コンクリートくず		27.81
		廃油		10.25
		金属くず		440.7
		ガラスくず		5.183
		紙くず		28.83
		廃プラ類		661.88
		木くず		95.3
収集運搬量合計				1269.953
(ii)中間処理		コンクリートくず	破砕	29.25
		金属くず	破砕	461.81
		紙くず	破砕	28.832
		廃プラ類	破砕	651.31
		木くず	破砕	96.1
	うち 再資源化等	金属くず		461.81
		廃プラ類		242.11
		コンクリートくず		20.85
		紙くず		28.832
		木くず		96.1
再資源化等量小計			849.702	
中間処理合計				1267.302
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0
(iv)中間 処理後の 産業廃棄 物	最終処分	廃プラ類		409.2
		コンクリートくず		8.4
	再資源化等	金属くず		461.81
		廃プラ類		242.11
		コンクリートくず		20.85
		紙くず		28.832
		木くず		96.1
再資源化等量小計			849.702	
中間処理後処分量合計				1267.302